

## 施策の評価

施策の柱

柱⑤

放課後改革～家庭・地域における取組への支援～

### 1. 個別事業の目標達成状況

個別事業No・名称	担当課	目標達成度	検討項目
32 放課後子どもプラン推進事業	生涯学習課	<b>B</b>	
33 子どもの生活リズム向上推進事業	生涯学習課	<b>C</b>	<b>工</b>
34 家庭教育支援基盤形成事業	生涯学習課	<b>B</b>	
35 学校支援地域本部事業	生涯学習課	<b>B</b>	

### 2. 施策の評価

総合評価	施策の主な目標	目標達成度	判断理由
<b>B</b>	① すべての子どもたちに放課後の健やかな育ちと豊かな学びを保障する。	<b>B</b>	◆「放課後児童クラブ」や「放課後子ども教室」を、未実施市町村が新たに開設するなど、着実に設置拡大を行うとともに、学習環境を県内全域で一斉に整えることができた。(事業32)
	② PTAと協働して子どもの基本的な生活習慣を定着させるとともに、地域できめ細やかな家庭教育支援体制をつくる。	<b>C</b>	◆ 子どもの生活習慣づくりは市町村の約7割、保育所・幼稚園、学校の約8割が取組んでいる。チェックカード点検者数は20,000人を超えたが、チェックカード提出率については特に保育所・幼稚園・中学校が目標値まで届かなかった。(事業33,34) ◆ 家庭教育サポーターの研修交流会に延べ390名が参加し、約8割の満足が得られた。また、研修を通して、コミュニケーションスキルの向上が図られたという感想が多く得られた。(事業34)
	③ 地域社会全体が学校を支える仕組みをつくる。	<b>B</b>	◆ 学校を支援する地域のボランティア数は約3,000人となり、前年より67%増加した。また、学校支援地域本部事業を実施する学校数等も拡大した。(事業35)

### 3. 今後の方向性

- ◆ 子どもたちの健やかな育ちと豊かな学びを保障していくために、
  - ① 「早ね早おき朝ごはん県民運動」を保育所・幼稚園・学校やPTA、市町村等と連携して長期的に推進する。
  - ② 地域社会全体で、学校を支援する仕組みや、放課後の学び場の設置を推進する。
- ◆ 特に平成22年度以降の取組として、
  - ・ 高知市の小学4年生から6年生が参加できる放課後の学び場を設置する。
  - ・ 支援が必要なすべての子どもが、放課後の学び場に参加できるような仕組みを整える。
  - ・ 保育所・幼稚園に、園所ぐるみで取組んでもらうよう働きかけていく。
  - ・ 平成23年度より学校支援地域本部事業が補助金化され、市町村の負担も必要になるが、学校を地域ぐるみで支援する仕組みとして、市町村と連携のうえ継続的に取組んでいく。